



明倫の里 城北 ともしび

発行・城北コミュニティ 丸亀市御供所町一丁目5番20号
城北コミュニティセンター「明倫」☎25・2141

城北地区人口	
世帯数	2,577 (-6)
人口	5,312人(-23)
男性	2,460人(-11)
女性	2,852人(-12)
(令和5年12月1日現在)	
(カッコ内は令和5年11月1日比)	

新年のご挨拶



明倫の里 城北
会長 砂本 健

新年あけましておめでとうございます。新型コロナウイルスが出現して以来、重症者が減少傾向にあり、ウイズコロナで社会生活に活力が戻りつつあります。城北コミュニティでもほくほくふれあいまつりが再開でき、少しずつ活気を取り戻せるきっかけとなったのではないのでしょうか。



そこで今年は災害に備えて自主防災会の充実を図り、安心・安全で住みやすい城北地区を目指した町づくりに取り組みたいと思います。皆さまのご協力をお願いいたします。この新しい年が地域の皆さまにとって良い年となる事を心よりお祈り申し上げます。年頭の挨拶といたします。

市長と語る会開催 3項目を提言

11月21日、「市長と語る会」をコミュニティセンターで開催しました。松永市長の市政報告の後、地元の見解や要望を提言しました。

Q 東汐入川けんこう公園に日除け設備の設置を

年々温暖化が進み、夏には35度を超える真夏日

が続いています。多くの親子づれが公園を利用していますが、東屋が3カ所しかありません。再三お願いしていますが、日除け設備設置の具体的な日程をお聞かせ下さい。

A

市には公園がまだ少なく、地域によっては順次増やしたいところも。順次増やしていきたいが難航している。ベンチに屋根を設置するならば、頑丈な物を作ら

なければならぬ。予算的には無理があるが前向きに検討していきたい。

Q デマンド型公共交通への移行

現在の移動手段確保事業(ボランティア)は2021年から実施していますが、運転手9人中4人が上限の75歳をこえています。声かけをしています。増えるめどが立っていないのが現状です。将来的には、他市が運用しているデマンド型交通に移行して利用しやすいものにしてはどうでしょうか。

A

デマンド交通は不便な所を優先に取り組んでいる。城北地区は街中で、他の地区に比べ優先度は低いが、スーパが便利ではないとわかった。担当にも伝えて、前向きにやっていきたい。

Q お風呂困難者の対応

家に入浴設備がなく、

常に公衆浴場を利用されている方(年間48枚の無料入浴券が支給されている68歳以上)は城北地区には20人程います。また、受給資格があるのに受けていない人も数人います。ほか温泉が遠いということも、理由の一つです。何とか温泉までの交通手段を確保できないでしょうか。また廃業した城北温泉を市が買い取り、NPO法人が運営する「公設民営」はどうですか。

飯山福祉センターの入浴施設を利用できれば、移動手段を考えてもらえばいいのではないのでしょうか。

A

風呂がないのは、本当に困ると思う。城北温泉については、民営でやっていった銭湯を今後公営でやるのは、今の時代難しい。飯山福祉センター利用については、担当者には検討するよう報告する。



ほくほくふれあいまつり

ほくほくふれあいまつりが、10月1日、4年ぶりに城北小学校運動場で開かれました。晴天にめぐまれ、久しぶりに地域の皆さんとふれあい、笑顔いっぱいでした。



3年ぶりの救急講習



赤ちゃんの胸骨圧迫の練習

9月14日、防災課高畑副主任を講師に迎えて救命処置・AEDの使い方、胸骨圧迫、人工呼吸の行い方を実習しました。

約20人が体験、圧迫する時の注意点を丁寧に教えてくれました。ずっと一人で圧迫するのは大変、周りの人の協力も必要です。赤ちゃんの人形でも体験しました。

3年前とは違う「気づき」もあり、毎年実施することが大事だと思えます。(城北愛育班)

四国遍路の成り立ち?

9月12日、コミュニティセンターでおへんろ交流サロンの片桐孝浩館長による『四国遍路の成立』の講座が開催されました。



真剣に聞く受講者

道」、「地域住民(接待)」の融合による成立条件が説明され、地元の讃岐国分寺の成立過程も知りました。(文化部会)

文化部会のお知らせ

音楽活動講座

日 1月16日(火)

13時30分～14時30分

所 コミュニティセンター

講師 音楽療法士

岩永十紀子さん

募集定員 40人

申込締切

1月12日

城北明倫まつり 3月3日開催

「第21回城北明倫まつり」を3月3日(日)午前9時から城北コミュニティセンターで開催します。

生涯学習クラブの舞台発表や作品展示、バザー、くじなどを予定しています。多くの皆さんの来場お待ちしております。

子どもたちと公園清掃

近年コロナのため環境部会員のみの清掃でしたが、9月29日、4年ぶりに城北小4年生、城北こども園5歳児の子どもたちと一緒に清掃しました。清々しい秋晴れの下ゴミを集め、草抜きなど大袋で27袋もゴミで一杯になりました。

子どもたちからのメッセージには、「みんなできると楽しかった」、「こども園の子と清掃できるとうれしかった」、「これからはお菓子のゴミを捨てないようにします」などうれしいことばが綴られていました。

(環境部会)



子どもたちと一緒に

講師からは、17世紀後半に1〜88の寺番付与。18世紀前半から大師堂、茶堂、接待所などの建立。18世紀中頃から四国遍路成立への経過とともに、「遍路(信仰)」、「場(遍路

要救助者救出・救助と留意事項

今年の防災訓練における「救出・救助、初期消火訓練」内容の一部と留意事項を紹介します。

● 倒壊物からの救出

要救助者にけがをさせないように注意して、のこぎりやバール、ジャッキなどの資器材を使用します。く



ぎや木材の先端などでけがをしないよう注意が必要です。

※クラッシュシンδροーム・・・がれきなどの重いものに腰や腕、腿（もも）などが長時間挟まれ、その後圧迫から解放されたときに起こります。

毒性の高い物質が蓄積され、解放されると毒性

城北コミュニティだより「ともしび」編集・広報部会
年間4回発行（1月、4月、7月、10月の各1日付）

が急激に全身に広がり、死に至る場合があります。急激に動かさないように注意しましょう。

● 心肺蘇生法

- ① 大きな声で意識確認
- ② 意識がなければ口を開けさせ、嘔吐物などがあればハンカチやガーゼなどを使いかきだす
- ③ 気道の確保、呼吸の確認、人工呼吸、マッサージ
- ④ AEDの使用

・ふたを開け電源オン
・電極パットを胸にはりボタンを押して電気ショック



※電気ショックを行うときは心肺蘇生を中止し、傷病者に触れてはいけません。いざというときに備え、知っておきましょう。

(防災会)

街頭募金

10月29日にパワーシテイ丸亀で街頭募金を展開。当日は、小学生の姉妹が飛び入りで参加し、大いに盛りあげてくれました。



ご協力に感謝!

寄付金付きバッジは「肉うどん」 製作費を除いた金額が丸亀市の赤い羽根へ募金されます。しかし、取扱い場所が限定されたため、街頭募金では配布されませんでした。

「じぶんの町を良くす

るしくみ」として寄せられた募金は、地域福祉活動などに活かされます。皆さん、ご協力ありがとうございました。

(福祉部会)

保健部会のお知らせ 健康教室

① 「ウン知育教室」 ヤクルト無料講座

日 1月24日(水)
13時30分～

所 コミュニティセンター 講堂
14時30分

申込締切 1月20日

② 「けがの予防・高齢者に無理ないストレッチニング」

日 2月1日(木)

13時30分～15時

所 コミュニティセンター 大会議室他

講師 四国学院大学 教授・健康運動指導士 片山昭彦さん

申込締切 1月30日

新春おめでとうウオーク

新年早々1月7日に「おめでとう」の挨拶と共に、丸亀城大手門をスタートします。

横田耕治さんのガイド付きコースなど、3コースがあります。自分にあつたウオークを楽しんでください。雨天でなければ、東中学校で消防出初式を見学してはいかがでしょう？ (体育部会)

あ と が き

新型コロナウイルス感染症はまだ収束していませんが、ほくほくふれあいまつりが開催され、少しずつ以前のコミュニティ活動が戻りつつあるように思います。嬉しいことです。私たちが高齢者は住み慣れた地域で顔なじみになった友だちとか、ご近所の人たちと生きがいをもって楽しく暮らしていけたらと心より思います。

(高木)

「城北コミュニティセンター」の名称を「ともしび」の紙上では「コミュニティセンター」と表記しています。